

合格するための高校入試対策(数学編)

▶ 2023.12.14(木)

入試対策の基本方針

限られた学習時間しかない塾で、高校入試対策の学習のすべてをやりきることは不可能です。この事実から受験対策の作戦を立てなければなりません。つまり、塾で指導を受ける内容と自分で学習する内容をきちんと分けて学習を進めることです。

入試対策の全体設計

第1段階

入試対策の原則中の原則は、過去に"出た"問題はすべて解けるようにしておく、ということです。

当たり前のことですが、この学習を軽くみて、市販の"予想問題集"などを勉強している人がそれなりに見受けられます。

これは、山形県公立高校入試では絶対に出題されない内容とレベルの学習に時間をつぶしていることとなります。効果のない無駄な学習です。

第2段階

過去問をすべて解けるようにしてから、その傾向にそった内容とレベルの予想問題の対策学習をします。

ここでも、やはり、山形県では出題されないような内容とレベルの学習に無駄な時間をつぶさないことです。

数専ゼミの山形県公立高校入試(数学)対策指導

第1段階 (山形県公立高校入試の過去問学習)

・ 塾の指導を受けて学習する内容

② 方程式・連立方程式の文章題、③ 1次関数、④ 図形の総合問題(合同、相似、円、三平方)

この3つの分野の過去問は、難しくて自分ひとりで解くには時間がかかったり、解けなかったりします。だから、これを自分で学習しようとする学習が進まなくなります。

危険な学習です。

そこで、この分野については塾でていねいに指導します。

ひとりひとりについて、上の分野についても、得意・不得意がありますので、どの分野の何年分の過去問を学習するかは個人毎に決めます。

数専ゼミでは、過去問は過去50年分もっております。

・ 自分ひとりで学習する内容

それ以外の過去問については、解説の詳しい「過去問集」を使えば、自分ひとりでも学習できますので、家で学習を進めていただきます。

市販の「過去問集」はふつう、5年分が掲載されておりますので、それだけやれば十分でしょう。5年以上の過去問を学習したいときは、無料でさしあげます。数専ゼミには過去50年分の山形県の過去問があります。

もちろん、解説をみても解けないときは、塾にもってくれば教えます。

第2段階（入試問題の応用演習）

・ 塾の指導を受けて学習する内容

山形県公立高校入試問題の内容とレベルに近い問題を使って”入試演習”をします。

とりわけ、**2** 方程式・連立方程式の文章題、**3** 1次関数、**4** 図形の総合問題(合同, 相似, 円, 三平方)については、ハイレベルの応用問題を学習します。

48回分用意してあります。

・ 自分ひとりで学習する内容

山形県公立高校入試問題を年度別に学習します。

50分で満点がとれるようになるまで、繰り返し練習します。

年度別過去問は、市販問題集では3年分ほどしか掲載されていないものと、10年分が掲載されているものがありますが、10年分掲載されているものを使い、10年分の過去問が満点とれる力をつけておきましょう。

(ふつうは、解けて”おわり”式の学習しかしていない人が多くおりますが、そうではなく、50分で100点とれるようになるまで、繰り返し練習するのです。入試と同じ条件で解くのです。こうしないと、過去問の年度別学習をしても、効果がでません。)

10年以上の過去問練習をしたい人には、入試問題の実物を無料でさしあげます。

数専ゼミには50年分の山形県の過去問があります。

高校入試(数学)対策指導の受講方法

数専ゼミに入塾すれば、いつからでも高校入試(数学)対策指導を受けることができます。

入塾の方法は、数専ゼミの入塾案内をご覧ください。→ [Link: |トップページへ|](#)

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp